



TITLE:

1. 2元系 $\beta$ 相合金の弾性的挙動と相  
変態に関する研究 - 主として  
AgCd合金(奈良女子大学理学研究科  
物理学専攻, 修士論文アブストラク  
ト(1980年度))

AUTHOR(S):

牧田, 知子

---

CITATION:

牧田, 知子. 1. 2元系 $\beta$ 相合金の弾性的挙動と相変態に関する研究 - 主としてAgCd合金(奈良女子大学理学研究科物理学専攻, 修士論文アブストラクト(1980年度)). 物性研究 1981, 36(3): 187-187

ISSUE DATE:

1981-06-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/90323>

RIGHT:

(2) antiferro bond の希釈系, の2つの場合を取扱っている。

## 。奈良女子大学理学研究科物理学専攻

1. 2元系 $\beta$ 相合金の弾性的挙動と相変態に関する研究 — 主として Ag Cd 合金

牧 田 知 子

2. Au - Cd 合金  $\beta_1$  相のマルテンサイト変態に及ぼす急冷効果の研究

高 木 雅 代

3.  $\beta$ 相合金のマルテンサイト変態における前駆的異常の研究

高 木 由紀子

1. 2元系 $\beta$ 相合金の弾性的挙動と相変態に関する研究 — 主として AgCd 合金

牧 田 知 子

Ag Cd合金単結晶の作製に成功し, その弾性定数の温度変化を測定して, 相変態と弾性挙動との関連を明らかにした。また,  $\beta$ 相合金のマルテンサイト変態, 規則-不規則変態及び準安定-安定変態と弾性的性質との関連について考察した。

2. Au - Cd 合金  $\beta_1$  相のマルテンサイト変態に及ぼす急冷効果の研究

高 木 雅 代

種々の組成の Au - Cd 合金について, 相変態に伴う電気抵抗変化と急冷効果との関連を研究